

## (2)活動評価

	項目	取組事項	実施状況	成果と課題	1次評価
1	調査・相談(レファレンスの)充実	①町民(利用者)の調べものの手伝いや照会・問い合わせ等に親切で丁寧な対応を心がける	カウンターやフロアワーク等で町民(利用者)からの質問・照会に積極的に応じるとともに、図書館資料・機能を活用し、親切で的確・迅速な対応に努めた。	地域の事情、世代別ニーズ等を考慮した図書館サービスを展開できた。職員間で資料情報、レファレンス事例を共有することにより迅速で的確な対応につながった。今後もレファレンス事例の構築、蓄積、PR強化等により利用の促進に努める。また、定期的な職員研修とともに職員個々のレファレンスの蓄積、研鑽が必要である。	B
		②関係機関との連携	新潟県図書館等ネットワーク構成機関(公共図書館・公民館図書室・大学・短大・試験研究機関等)・他県図書館との連携しながらレファレンスサービスの充実に努めた。		
2	利用しやすい環境づくり	①わかりやすい書架サインの工夫	見出し・書架サイン・各事業の案内表示等を随時、更新及び作成(職員手づくり)・設置に努めた。	マナー向上を含め利用者の興味をひくポップ、わかりやすいサインづくり等館内表示の改善に努めた。狭隘な図書館環境のなかで、「テーマ展示」「コーナー展示」を積極的に展開し、多様な作品(資料)紹介、情報提供をすることで貸出、利用につながった。加えて、近年はシニア世代の利用が増加している。高齢者の利用しやすい環境づくりや対応にも努めていく必要がある。	A
		②話題の本や暮らしに役立つ本の紹介	・テーマ展示(年48回/3ヶ所)実施 ・コーナー展示(年11回)実施 ・今日は何の日?(毎日)実施		
		③広報活動の充実	「新しく入った本」「社会教育だより」「としょかんからのお知らせ」「としょかんだより」「図書館通信」「えほんのたからばこ」「えほんDEえほん」「私の心にのこった一冊」		
		④読書週間事業の開催(利用者の拡大)	・「雑誌リサイクルフェア」161タイトル 1,647冊対象 ・「雑誌のふろくプレゼント」145個 ・「新規利用登録者推進月間」		
3	乳幼児サービス	①ブックスタート ブックスタート・プラス	・4か月健診(絵本2冊プレゼント 毎月1回) 129名 ・1歳6か月健診(絵本1冊プレゼント 隔月1回) 148名	ブックスタート事業や「育児サークルお話し会」等の参加がきっかけで、親子の図書館利用が増えている。反面、マンネリ化も見られるので、対象年齢、内容等の見直し、検討を加え、より充実を図ってきたい。	B
	児童サービスの推進	②おはなし会の開催	・ぐるんぱの部屋(月1回開催) ・きせつのおはなし会 春(絵本となかよし)29名参加 ・ " 秋(ハロウィーンのお話し会)42名参加 ・ " (町内各小学校読書旬間) ・ " 冬(育児サークルお話し会)2会場 41名参加		
		③1日子ども図書館員	・「こどもの読書週間」「秋の読書週間」事業の一環として年2回開催(各5名ずつ参加)		
4	館外サービスの充実	①移動図書館車巡回	・町内3小学校(年40回巡回) ・町内3集落(年19回巡回)	図書館資料を活用した学習を広く支援するためのテーマ別リスト(冊子)「小学校の学習に活かせるブックリスト①～⑤」を編集・発行。「大型絵本 紙しばいのリスト」「環境に関する本のリスト」と併せ、活用に向けアピールが必要である。今後も学校との連携、支援に努め、機能強化、体制づくりに取り組んでいく。	A
		②小・中学校・こども園へ団体貸出	・各小学校(年15回)・中学校(年12回) ・亀塚児童館(年12回) その他随時貸出を行っている。 ・山倉小学校と蓮野小学校(月1回・図書館職員)		
		③小学校への読み聞かせ	・亀代小学校(ボランティア)		